

フォーラム・アール ～これからを話そう vol.2

高橋そよ

「生きものをめぐる—琉球弧の生物文化多様性の視点から—」

2022年12月10日(土)



vol.2では「コレクション展2 Sea Lane - Connecting to the Islands 航路 - 島々への接続」に合わせて、沖縄の島々で20年以上に渡り研究をしている高橋そよを迎えます。

琉球弧のサンゴ礁を生業の場とする人々の漁撈文化を紹介し、人間と生きもの、自然環境との循環的な関わりについて考えます。

イベント名	フォーラム・アール ～これからを話そう vol.2 高橋そよ「生きものをめぐる—琉球弧の生物文化多様性の視点から—」
日時	2022年12月10日(土) 14:00～16:00(開場13:45)
会場	金沢21世紀美術館 レクチャーホール
定員	70名(要事前申し込み・先着順)
参加費	無料
企画・聞き手	野中祐美子(金沢21世紀美術館アシスタント・キュレーター)
申込方法	当館ウェブサイト申込みフォームにて受付中
主催	金沢21世紀美術館[(公財)金沢芸術創造財団]
お問合せ	金沢21世紀美術館 交流課 TEL 076-220-2811 (火～日曜日、祝日10:00～18:00)



申込みフォーム

本資料に関するお問合せ 金沢21世紀美術館 広報担当:石川聡子・齊藤千絵・落合博晃(広報課)
事業担当:木村健(交流課)、野中祐美子(学芸課)
〒920-8509 金沢市広坂1-2-1
TEL 076-220-2814 FAX 076-220-2802
<https://www.kanazawa21.jp> E-mail: press@kanazawa21.jp



企画概要

琉球弧の島々では、山・川があり田んぼで稲作を営むことのできる高島を田の国「タンゲン島」と呼び、川がなく水の確保に苦勞をし、ムギやアワなどの畑作が中心だった低島を、野の国「ヌンゲン島」と呼び分けてきました。このように琉球弧の島々では、それぞれの自然環境に応じて、固有のことはや文化、生命観、在来知、技術、道具、芸能などを発達させてきました。本レクチャーでは、琉球弧のサンゴ礁を生業の場とする人々の漁撈文化を紹介し、人間と生きもの、自然環境との循環的な関わりについて考えます。（高橋そよ）

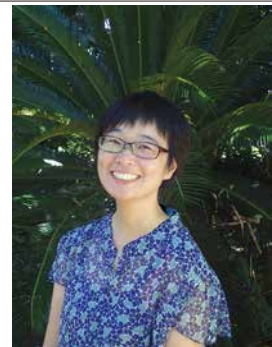
企画趣旨

開催中の「コレクション展2 Sea Lane - Connecting to the Islands 航路 - 島々への接続」(2023年3月19日まで)では、沖縄と海洋で交流のあった東南アジア・オセアニア地域の作家の表現を通して、この地域特有の島嶼性という観点に着目しています。「島嶼性」というのは大小さまざまな島が分布する状態を指します。本展でフォーカスしている地域とその地域出身の作家にとって、歴史、文化、環境、常識といったあらゆることにおいて島嶼性がもたらした影響は大きなものでした。高橋そよ氏は、20年以上沖縄の島々をフィールドワークの地として、そこで島どうしのつながりや、関係性、文化や伝統の継承、経済活動の成り立ちなどを研究しています。実際に島嶼研究をしている高橋氏にとって、作家が見てきた現実がどのように映るのか、そして作家の表現と研究者の調査研究の両側面から人類がいま直面している現実を理解し、未来に向けて何をどう考え実行していけばいいのか、そのようなことを考える機会にしたいと思います。（野中祐美子）

講師プロフィール

高橋そよ(たかはし そよ)

琉球大学人文社会学部 琉球アジア文化学科 准教授。島をフィールドとした人間と自然との関わりに関する研究に憧れて、北海道から琉球大学に入学し、伊良部島の素潜り漁師に弟子入りをする。野生動植物の国際取引をモニタリングする国際NGOのプログラムオフィサーなどの社会と研究をつなげる仕事を経て、2019年より現職。地域の方々と一緒に、漁具や古写真をはじめとするサンゴ礁漁撈文化の記録と継承に取り組んでいる。



2

企画・聞き手
プロフィール

野中祐美子(のなか ゆみこ)

金沢21世紀美術館アシスタント・キュレーター/レジストラ。清須市はるひ美術館学芸員を経て2014年12月より現職。開催中の展覧会「コレクション展2 Sea Lane - Connecting to the Islands 航路 - 島々への接続」を担当。沖縄のアーティストの調査を進めるなかで、沖縄から東南アジア・オセアニア地域のつながりに関心をもつようになり、本展覧会が実現した。近年の主な展覧会は「村上慧：移住を生活する」(2020-21)、「現在地：未来の地図を描くために」(2019-20)、「泉太郎 突然の子供」(2017-18) など。



3

フォーラム・アール
とは

フォーラム・アールでは様々な分野の専門家をお迎えし、世界にある「今」への新しい視点や考え方を学びます。各回で美術館の専門スタッフが聞き手となり、皆さんとともに「少し先の未来」との向き合い方を考える、伸びやかな学びと語らいの場を目指します。科学技術の進歩が社会を変化させ続ける中、また地球環境や社会システムの更新などに対応すべく、私たちはあらゆる分野で協調して対応しなければなりません。各回のトークを通じて、変化を理解し、仕組みや態度を調整/更新していく学びの機会とします。

今後の予定

vol.3 藤原辰史 (京都大学人文科学研究所 准教授)

これからの「食」とアート

日時：2023年1月21日(土) 14:00～16:00 (開場 13:45)

会場：レクチャーホール

定員：70名 (申込先着順、

12月21日(水) 10:00より申込みフォームにて受付開始)

参加費：無料

企画・聞き手：黒沢聖覇 (金沢21世紀美術館アシスタント・キュレーター)



4

vol.4 吉村正志 (沖縄科学技術大学院大学(OIST)「OKEON美ら森プロジェクト」コーディネーター)

地域社会と見つめる—『生物多様性』沖縄の陸域環境調査から—

日時：2023年2月11日(土・祝) 14:00～16:00 (開場 13:45)

会場：レクチャーホール

定員：70名 (申込先着順、

1月11日(水) 10:00より申込みフォームにて受付開始)

参加費：無料

企画・聞き手：木村健 (金沢21世紀美術館エデュケーター)



5

vol.5 フランソワーズ・モレシャン

(金沢21世紀美術館国外アドバイザー)

時代は変わる、ファッションも

日時：2023年3月4日(土) 14:00～16:00 (開場 13:30)

会場：シアター 21

定員：120名 (申込先着順、

2月4日(土) 10:00より申込みフォームにて受付開始)

参加費：無料



6

広報用画像

画像1～6を広報用にご提供いたします。ご希望の方は下記をお読みの上、広報課へお申し込みください。

画像お申し込みフォーム ▶ https://www.kanazawa21.jp/form/press_image/

[使用条件]

※トリミングはご遠慮ください。作品が切れたりキャプション等の文字が画像にかぶったりしないよう、レイアウトにご配慮ください。

※情報確認のため、お手数ですが校正紙を広報課へお送りください。

※アーカイヴのため、後日、掲載誌(紙)、URL、番組収録のDVD、CDなどをお送りください。以上、ご理解・ご協力のほど、何とぞよろしくお願いいたします。